行雲流水

No.76 令和3年7月15日発行

夏季休業を有効につかおう！ その2

校長 寒河江 正人

自分自身と向き合い、「やる気と自信の芽」を育てよう！

夏季休業は、1年間の「ターニング・ポイント」だ。

3年生にとっては、「**来春4月からの進路の扉**」を自力で開く準備が本格化する。
1・2年生にとっても、「**2学期の成長・飛躍**」に向けて、弾みをつけたいタイミングだ。

長期の休業日を迎える前は、いろんなことができるだろうと「ワクワク」期待が膨らむ。
この「**ワクワク感**」が大切だ。

「**ワクワク感**」は、がんばろうとする「やる気」を起こす「スイッチ」になり得るからだ。

この「**ワクワク**」が新鮮なうちに、一步前進する「**夏の1アクション**」をおすすめする。

この夏、**何か1つ、小さなこと**でいいから、**自分で決めて、しっかりとやり遂げてみよう**。
早朝のランニングでもいい、バットの素振りでもいい、読書でもいい、数学のドリル学習
でもいい、英語の長文読解でもいい。

「**自分で決めて、自分でやり遂げる**」と、それが「**自信（経験）**」になる。

何か1つ、「やれば、できる。」という経験が、次の「やる気エネルギー」を生み出すのだ。

この「**やる気エネルギー**」は、誰か他の人から、与えてもらえるものではない。

それを生み出すのは、生徒諸君一人ひとり、「**きみ自身**」なのだ。

「亀の歩みは、鈍いが確かである。

ただ一心に目標を見つめ、一步、また一步と確実に歩み続けるのみ。」

「大切なのは、目指す地点が、ぶれないこと。

少しでも、前進することを意識していれば、

確実に目標は、近づくのだと信じる心があなたを強くする。」